

6月は「心がかがやかせよう」に向けて頑張りました

6月の全校集会では、人権対話集「ひとすじの光 ひとすじの道」より（作：栗原律さん）の詩集を紹介し、「心がかがやかせよう（やさしく）」についてお話をしました。

さて、その話をしたある日の出来事です。休み時間に外に出ていた低学年が、チャイムの音と同時に大急ぎで教室に戻ろうとした時のことでした。1人の男の子が運動場で転んでしまいます。なかなか立ち上がれません。しかし、他の子ども達は、チャイムの合図を守ることに一生懸命で、転んだ友達のことがよく分っていませんでした。どうなるのかと見ていると、転んだ子どもの横を通りすぎた子どもがいました。10メートルぐらい行ったところで、立ち止まり、転んだ子どもの方を振り返りました。どうしようか迷っています。でも、その子の決断は・・・、転んだ子どものところへ戻ることでした。走って、転んだ子どもの所へ。何か声をかけています。すると、その転んだ子は立ち上がることができました。そして、戻ってきた子と一緒に歩き出しました。保健室の前までたどり着くと、転んだ子どもの頭をその子はなでなでしていました。やっと安心して、私も校長室に戻りました。私の心は、温かい気持ちでいっぱいになりました。こんな温かさで満たされた学校にしていきたい、そう改めて思う出来事でした。

心がかが
やかせよう
（やさしく）



人権対話集「ひとすじの光 ひとすじの道」より
（作 栗原律さん）
心のかがやき
バスの中で さっと立
ち上がり
「どうぞ」と席をゆ
ずった子
「ありがとう」と言っ
てこしかけたおばあさ
んのお礼の言葉を聞い
て
うれしそうにほおを赤
らめた子
その子の心はかがやい
ていた

田植えお世話になりました

緒方様の田んぼをお借りして、6月26日（月）田植えをさせて頂きました。緒方様、中坂様、坂本様、川上様にもお手伝い頂きました。学校のすぐ下の田んぼに向かうと、もう植えるばかりに田んぼが整えてあり、それを見ただけで感謝の気持ちで一杯になりました。田植えをした5年生の子どもたちは、裸足で田んぼに入り、あの何とも言えない感触に初めはなれない様子でしたが、最後まで楽しんで田植えができました。昔は協力して行わなければ田植えができなかったことも、体験してみて分ったことでしょう。田植えの後には、子どもたちのお楽しみ泥んこ遊び。坂本様が、田植えをせずに、子どもたちにどろんこ遊びをさせるために準備して頂いたものでした。（この後、田植えをされるそうです。）地域の皆様から大切に育てられている大道っ子たちは、本当に幸せ者です。ご協力いただいた皆様に、心から感謝申し上げます。



教育力向上協議会

6月21日（水）に、学校評議員・学校関係者評価委員・地区コーディネーターの皆様が来校され、子どもたちの様子を見ていただきました。学校経営方針もお話し、参加者の皆様からは、「昨年までの良い取組は継続して欲しい。」「1年生にはサポートの先生がつかれていた。学習に向かっている様子を見て安心しました。」等、子どもたちの頑張るも褒めて頂きました。今後も子ども達のことをどうぞよろしくお願い致します。ご参加いただき大変ありがとうございました。

城北高等学校から水泳の指導に来校

6月22日（木）、20名ほどの高校生が6年生の水泳の指導に来てくれました。一緒に水に入って、ずっと声かけし、そのおかげで初めて25メートル泳ぐことができた子どももいました。みんな大喜びです。平泳ぎの足の蹴り方を、丁寧に説明し、見る間にスムーズなフォームに改善された子どももいました。6年生は、「5年後の自分を創る」に向け、よい手本の高校生から多くのことを学ぶ貴重な時間となりました。



大道小学校に山鹿灯籠がやってきました

6月2日（金）、山鹿灯籠踊り保存会の皆様が大道小学校においでくださいました。灯籠を付け、ピンクの浴衣を着た保存会の皆様が低学年の廊下を歩かれると、子ども達は大喜び。保存会の皆様は「アイドルになった気分」と笑顔で話されていました。体育館で踊っていただいたのですが、美しく、とても優雅でした。保存会の皆様しか踊れない上下組み踊りも見せていただきました。山鹿灯籠踊りを大切に守っていらっしゃる保存会に皆様との出会いが、山鹿愛を更に深めるきっかけになったことでしょう。

